毎日のお仕事、組合活動ご苦労さまです
組合費・国保料などは
毎月群会議で納入
納入袋
2ヵ月めを遅れる方は「資格継続願い」を提出して下さい

けんせつ北部

（購読料は組合費の中に含まれています。）
定価30円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5－22－15
※板橋〈3963〉5325
電話　練馬〈3825〉5522
北〈5390〉6021
豊島〈3986〉2471
発行人　代表者　川合　正人
発行日　1日、9日、17日、25日

多くの仲間と連帯し、賃金・単価の大幅引き上げと安心して働ける建設業界を実現するために、組織を大きく強くしよう

第68回定期大会を開催

支部大会に参加した仲間

4月7日（日）板橋区立文化会館をメイン会場に、東京土建板橋支部第68回定期大会を開催、組合員140人・来賓29人が参加しました。

大会では、「新型コロナ」が5類になり、コロナ禍前の経済活動が本格化することが期待されたのもつかの間、世界的な紛争・天災と、ゼロ金利政策の影響による円安も相まって、諸物価・ガソリン価格の高騰などにより、仲間の仕事と暮らしは、一息つく間もなく厳しい状況が続いている。今こそ、物価上昇を上回る賃上げの実現と消費税減税が急務であること。インボイス制度導入による増税や、マイナ保険証強制導入とこれまでの保険証の廃止を止める闘いが重要になっていること。また、日本を戦争のできる国にしようとする動きに対峙し、憲法9条を守る運動の重要性が確認されました。

また、7月7日投開票の東京都知事選挙で、都民の暮らしを守る都政への転換が呼びかけられ、都政を都民の手に取り戻すために活動していくことを確認しました。

「建設アクション運動」の一層の前進と、地域の多数派結集のための「強固な組織づくり」、分会・群の組織強化で実増を勝ち取る決意を新たにしました。

最後に、3年ぶりに支部制定歌の斉唱を行い、団結ガンバローで閉会となりました。

〈新四役〉
執行委員長　成瀬晃一
副執行委員長　遠藤真
副執行委員長　林賢二郎
副執行委員長　下山金光
書記長　小林宙
書記次長　穴澤秀康
書間弘之
竹腰隆樹
森千恵子

※詳細は5月号で報告します

長年板橋支部のために奮闘した退任役員のみなさん

これからもよろしくお願いします

退任役員のみなさん

今大会では、長年、分会役員を経て支部常任執行委員、四役と歴任されてきた山本清志さん（舟渡高島）追川春夫さん（徳丸）須賀朗さん（大山）と、分会長として大所帯の分会の運営を担ってきた小野寺浩之さん（舟渡高島）小貫勝紀さん（徳丸）が退任されました。

代表して山本前委員長が「今大会は、参加者から多くの意見や質問が出され、活発な大会となった。支部をよくするためにたくさんの意見が寄せられることはとても良いことだと思う。分会の協力なしには支部の運動は成り立たない。自分も分会に帰ってからも、様々な取り組みに協力していきたい」と挨拶しました。会場からは大きな労いの拍手が起こりました。

ご参加いただいたご来賓のみなさん（敬称略）

東京土建本部	常任中執	上原　誠
	常任中執	吉川　豊
東京土建豊島支部	副執行委員長	遠藤　正行
東京土建北支部	副執行委員長	宮下　幸則
東京土建練馬支部	副執行委員長	肥野　信彦
自由民主党	都議会議員	松田　康将
板橋総支部		高橋　尚久
公明党	都議会議員	かまた　悦子
	区議会議員	鈴木こうすけ
	〃	田中　いさお
民主クラブ	区議会議員	五十嵐やす子
	〃	おばた健太郎
日本共産党	区議会議員	小林　おとみ
	〃	山内　えり
	〃	竹内　愛
	〃	石川　すみえ
	〃	小柳　しげる
	〃	いわい　桐子
板橋区労働組合連合会	副議長	溝口　義治
板橋区職員労働組合	委員長	帖佐　真澄
板橋社会保障推進協議会	事務局長	金崎　文子
新日本婦人の会板橋支部	支部長	佐藤　朗子
板橋民主商工会	事務局長	古山　寿樹
板橋生活と健康を守る会	会長	加藤　勝治
城北法律事務所	弁護士	平松真二郎
中央労働金庫板橋支店	支店長	中崎　博行
前進座	演技部	清水　麻美
青年劇場	俳優	船津　基

消費税導入35年目をむかえた導入日行動

前野中台分会　金井設男

中根橋に集まった仲間

3月31日（日）、桜が1分咲きの中、石神井川に架かる中根橋に集合し、今年も消費税導入日行動が開催され、5団体45人（東京土建から31人）が参加しました。

4月1日は消費税導入から35年の節目を迎える取り組みとなりました。導入当初は「福祉のため」と言われていましたが、今や税率は10%、何のために使われているのかわからなくなっています。

中板橋駅まで石神井川沿いを練り歩き、ところどころ橋の上でハンドマイク宣伝をおこない、花見や買物中の方へ「物価高騰の今こそ消費税減税を」と訴えました。行動全体ではビラを532枚配り、署名は36筆集まりました。

とんかち談義

今年の桜はずいぶん遅いなあと思っていたら「今後、桜は咲かなくなるかもしれない」という情報も聞こえてきて心が暗くなった。しかし、そんな心配もつかの間、少し遅れた感はあったが今年も見事に美しい姿で私たちを癒してくれた。考えてみれば、年々開花が早まり、それはそれでいいのかと話題になり、さすが桜、話題性はピカ一かもしれない▼春といえば、大手ゼネコンや住宅メーカーを相手取り、現場の処遇改善などの実現に向けた大手企業交渉が開催される。丸の内3－2計画での現場からの告発と、その改善に向けた組合の取り組みから、「現場のことは、現場で働く者にしかわからない、現場から現場を変えよう」の取り組みが広がっている▼敵もさるもの、一筋縄ではいかないが、現場の仲間と組合がタッグを組んで、粘り強く事実を示していくことがカギとなる▼全国でとりくまれた100万人署名も目標を超過達成した。建設労働者の処遇改善、担い手確保に向けた運動もいよいよ大詰め。この春も多くの仲間の声を集め現場の改善を進めよう。

「現場から現場を変える取り組み進めよう」

決意固めたＰＡＬ総会

現場から現場を変えようと意思統一

遠藤会長の音頭で乾杯

3月24日（日）、支部会館4階で第18回ＰＡＬ総会が行われ、21人の仲間が参加しました。

総会では「ひとりの声が現場を変える、みんなの声が賃金・単価を変える、胸を張って声を上げよう」のスローガンのもと、昨年の総括と新年度方針、新役員が承認され、遠藤会長から「ＰＡＬの仲間を増やして現場から現場を変える運動を大きく進めよう」と決意表明がありました。

総会後は、御崎本部常任中執を講師に「収入と休日の両方が必要　だからこそ「根拠のある請求」を　みんなで挙げよう賃金・単価引き上げの声」と題して学習し、質疑応答、現場の実態交流で理解を深めました。

悪徳商法や特殊サギについても学んだ

イキイキ会総会

新役員の皆さん

笑いの中に役立つ情報が

3月24日（日）、支部会館5階で第23回イキイキ会の総会が行われ、41人の仲間が参加しました。

今回はお笑い芸人の「キラーコンテンツ」と「いち・もく・さん」の2組を招き学習。悪徳商法や特殊サギにご用心と呼びかけました。

身近な消費者トラブルなどで困ったときは、消費者ホットライン188（イヤヤ）に電話で相談しましょう。泣き寝入りはダメですよ。笑いの中に役立つ情報が盛り込まれ、楽しい学習ができました。

笑いの後は、和やかな雰囲気の中で総会が始まりました。昨年の経過報告、新年度の方針案、会計報告、新役員選出など、議事はスムーズに進み総会は終了しました。

参加したみなさんには、おいしいお弁当と飲み物をお持ち帰りいただきました。

イキイキ会
事務局長
島田多鶴子

総会参加のみなさん

女性の会総会

久しぶりにコロナ禍前の通常開催できました

3月16日（土）、支部会館5階で第57回女性の会の総会を開催しました。

来賓に女性の会担当役員の須賀副委員長、本部主婦の会副会長の濱崎さん、板橋母親大会連絡会会長の栗原さんにもご出席いただき、46人の参加で行いました。

はじめに、昨年亡くなられた女性の会会員の方々と、能登半島地震で亡くなられた方々に黙とうを捧げました。

午前中の学習会は、関東大震災から100年が過ぎ、災害に備えようと、板橋消防署から地域防災担当主任の塚本さんを講師に招き、動画やスライドで学習しました。

地震に対する備えや、地震の時の行動を学び、地震が起きたらまず身の安全をとのことでした。消火器の使い方なども何人かの方が体験され、皆さん真剣に聞き入り質問しました。

午後からは、基調及び経過報告、決算報告、新年度方針、予算案が提案され承認採択されました。その後、役員選出、年間拡大表彰、スローガンと続き、久しぶりに復興支援ソング「花は咲く」を合唱し、団結ガンバロー！で終了となりました。

消火器の使い方も学びました

女性の会
会長
高瀬　佳江

青年部総会を開催しました

2024年3月16日（土）支部会館

会議の後は焼肉サイコー

3人の参加と大変寂しい総会となりましたが、経過報告、新年度の方針を提案し、採択されました。2023年度から新体制となり、なかなか青年部の結集が進まない状況ではありますが、引き続きイベント・交流会・学習会と青年層が結集できるような企画を考え、実行していくことの重要性を再確認する場となりました。

総会後は、「一年間お疲れ様でした」「来年度もガンバロウ」の意味を込めて牛繁にて交流会を行いました。

税金対策ニュース　2024年４月　発行：板橋支部税金対策部

定額減税が事業所の負担増に

〝減税〟という名の事業所泣かせ
インボイス・電子帳簿保存法に続く３重苦

すでに誤解が多い…
１回限りなのに複雑な実務、政治的な〝見せかけ〟も

野党が提案する消費税減税を蹴飛ばして、「定額減税」が国会で可決・成立しました。不正確な報道が相次いでいることもあり、すでに誤解が組合員や事業所に広がっています。

１回限りなのに複雑な実務は、事業所に負担が押しつけられ、インボイス、電子帳簿保存法に続く、３重の事務負担増となります。

正しくは
- **2024年分の所得税を３万円、住民税を１万円減税**
- **納税額がそれ以下の人にも同等以上の給付金を支給**
- **実施は６月１日以降**

単純な減税ではないため、かなり複雑　**実施完了まで１年以上**

今回の「定額減税」は、１人４万円と言われていますが、正確には、2024（Ｒ６）年分の所得税から３万円と住民税から１万円を減税し、納税額がそれ以下の人にも同等以上の給付金を支給することで、多くの国民に４万円以上の〝減税〟（または給付）を行なうものです。

予算は総額５兆円規模で、実施は６月１日以降です。

こう言われれば聞こえは良いのですが、単純に減税するだけではないため、かなり複雑で、実施完了まで１年以上かかります。（４／３現在の内容は右欄）

「減税するなら消費税」の声が広がる…
経済効果は「定額減税」の２倍以上

専門家からは、「定額減税」と同じ５兆円で消費税減税を行なった場合は「定額減税」に比べて経済効果が２倍以上、という試算が示されています。物価高が続く中での、１回限りの〝減税〟には、多くの国民や専門家から疑問が出されています。

所得税３万円

給与天引き・年金の人は源泉徴収で、他の人は来年の確定申告で

事業所は注意　６月で引ききれない場合は、何ヶ月も繰越して計算・管理する

給与天引きの人は、６月の源泉徴収で反映させますが、６月で引ききれない場合は７月以降の何ヶ月にもわたって繰越して計算・管理が求められます。年末調整でも改めて計算します。

年金の人は、給与と同じく源泉徴収で反映されます。一方で、日雇い給与の人や、請負・外注の人は、来年の確定申告で反映させますが、予定納税がある方は、まずは予定納税で反映されます。

住民税１万円

減税を大きく見せかける演出のため、徴収額が増える人がいる

事業所は注意　５月から８月にかけて毎月、徴収額が変わる

住民税は、前年の所得をもとに自治体が税額を通知してきますが、その時に反映されます。

１万円だと気付かないので、〝減税〟を大きく見せかける演出として、給与天引きの人は、６月分は〝徴収なし〟としますが、７月以降の11ヶ月で１年分を徴収されるため、７月以降の徴収額が増える人がいます。

これとは別に「森林環境税」が導入され、１人１千円が増税となります。「定額減税」は１回限りですが、「森林環境税」は恒久増税です。

納税額が低い人は自治体から給付金…所得税の分は来年以降に支給

すでに支給された物価高騰対策の給付金が「定額減税」の額より低かった人には、追加の給付金

納税額が「定額減税」の額より低い人は、納税額が確定した後に、自治体から給付金を支給する、としています。したがって、所得税の納税額が３万円未満の場合は、2024（Ｒ６）年分の所得税額が確定する来年３月以降に、給付金が支給されますが、具体的な方法は未定です。

住民税非課税世帯で、物価高騰対策としてすでに支給された給付金が、「定額減税」の額より低かった人には、追加の給付金が支給されます。

あなたの事業所は対応しましたか？

「働き方改革と労働時間管理」学習会

労働基準監督署を講師に

５月28日（火）夜７時～８時半頃

板橋支部会館「あーちぷらざ」
《参加費無料》

東上線　中板橋駅　７分
三田線　板橋本町駅　10分

お申し込みは支部事務所まで

◆労働時間の把握
→すでに義務化されています

◆有給休暇
→すでに義務化されています

◆時間外労働の上限規制
→建設事業は４月から義務化

・・義務化とは
必ずしなければなりません。
できない言い逃れはできません。
違反した場合は、罰則付きです。
（懲役または罰金）

しっかり学んで、ポイントをおさえて
働きやすい労働環境を一緒に作りましょう

石綿特別教育
板橋支部で開催！！

石綿特別教育
６月23日（日）　13時～18時

【受講資格】
18歳以上の組合員
①受講申請書
②受講料　5,000円
早めに支部事務所へお申込み下さい
埋まり次第締め切りとなります。最終締切は、６月５日。

※労働安全衛生法では事業者は危険又は有害な業務に労働者を従事させる場合は特別教育を行うよう規定され、石綿を含む建築物の解体・改修工事を行う業務は、労働安全衛生規則により「危険又は有害な業務」に指定されています。

アスベスト被害は、あらゆる職種の方に及んでいます。
石綿が使用されている建築物等の解体・リフォームの作業に従事する労働者全員が作業前に受講が必要です。

東京土建一般労働組合　板橋支部　03－3963－5325

おきたまだより

出前授業

3月5日、東京の小学生に向けてリモート授業を行いました。これはお取引いただいているアグリトラスト・ジャパン様からのご紹介で、給食の時間にお米に関することを生産者自ら直接映像をつないで産地からお届けするという企画です。

当日は種もみの準備と肥料製造工場の2か所をつないで、現場の様子や作業を紹介しました。

たった5分とはいえ、セリフが覚えられなかったり、順序が違ってしまったりと慣れない仕事にまいってしまいました。

日程表

2024年4月			
		組合活動	機関会議など
17	水		書記局会議２時～
18	木		社保協幹事会
19	金	納入日	法律相談
20	土		
21	日	立て看行動	
22	月		分会長会議・共済審査
23	火	訪問行動日	
24	水	本部報告	
25	木	群長学校	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		中執

2024年5月			
		組合活動	機関会議など
1	水	メーデー	
2	木		書記局会議　四役・常任
3	金		憲法集会
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		拡大執行委員会
8	水	訪問行動	発送
9	木		
10	金		
11	土		
12	日	日曜行動・ベルトサンダー講習会	
13	月		
14	火		
15	水		
16	木		
17	金		書記局会議２時～
18	土		
19	日	日曜行動	

※書記局会議は事務所閉まります

新入学祝い

お子さんに図書カード5千円など

この4月に小・中学校に新入学の1年生のお子さんに、どけん共済会から新入学祝いとして、図書カード5千円分を進呈します。申請が必要です。

また、高等学校入学のお子さんには、板橋支部からの祝い金が支給されます。

〈必要書類〉

小・中学校

① 申請書（どけん共済会）

② お子さんの健康保険証のコピー（続柄記載の世帯全員の住民票でも可能）

高校

① 申請書（板橋支部独自）

② お子さんの健康保険証のコピー（続柄記載の世帯全員の住民票でも可能）

③ 身分証明書のコピー（高校名・生徒名が記載された生徒手帳など）

詳しくは支部事務所（☎03－3963－5325）へお問い合わせください

土建国保に関する届け出をお願いします

①転居して住所が変わった

②家族が増えた

③家族が減った（子どもが就職して社会保険に加入したなど）

④事業の形態などが変わった（「会社を設立した」「従業員を雇った」など）

このような場合、届け出が必要になりますので手続きをお願いします。

詳しくは支部事務所へお問い合わせください。

☎03-3963-5325

求人・求職コーナー

求職

○大工　短期雇用希望　志賀卓・徳丸分会☎090－2210－4470／資格など　運転免許普通・大型、丸のこ・足場

求人

○建築施工管理技士・土木施工管理技士・電気工事現場管理　社員等2人／㈱ハタ未来デザイン研究所／幡鎌秀一・前野中台分会☎080－5576－4473／有資格者

※求人・求職の掲載のお申し込みは支部事務所☎03－3963－5325まで。

日曜健康診断のご案内

5月26日（日）

【申込締切】5月7日（火）

【実施場所】小豆沢病院（定員60名）

6月23日（日）

【申込締切】6月3日（月）

【実施場所】小豆沢病院（定員70名）

◇平日の健診もご利用ください（予約が必要です）

※日曜健診は午前のみの受付となります。午後はお申込みできませんのでご注意ください。

※オプション健診は有料です。申込時に費用を組合へ納入下さい。分会経由で納入する場合は群会議でお支払いください。

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	基本健診	胃がん	胃がん	骨粗鬆症	じん肺	有機溶剤	大腸がん	前立腺がん
		（カメラ）平日のみ	（バリウム）			（キシレン・トルエン・エチルベンゼン選択）		
費用	無料	8,000円	3,000円	2,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
		50歳以上の土建国保加入3000円	50歳以上の土建国保加入者無料				40歳以上の土建国保加入者基本に含む	50歳以上の土建国保加入者は無料

※日曜健診は予約制です。必ず組合へお申し込みください。

問い合わせ先／東京土建板橋支部　TEL 03-3963-5325

家づくりの後継者、建築のスペシャリストを養成

東京建築カレッジ

東京土建が設立運営する学校

入学・就職相談受付中

●実習棟を中心に伝統技術を学ぶ ●構造設計、コンピューターCADも学習 ●登校日、毎週金・土の２年制

応募資格　18才以上、働きながら学ぶ意欲のある方
入学金　3万円
授業料　月額 31,000円（非組合員 48,000円）教科書・道具代 別途実費
雇用保険加入者は賃金助成制度適用あり

職業能力開発短期大学校　東京建築カレッジ

東京都豊島区池袋1－8－6 TEL 03-5950-1771